

日本の知恵、  
プラスチックの知恵



国立国会図書館所蔵

## 難を転じる、縁起物

お祝いの赤飯などに添えられる南天の葉は、室町時代から料理人が始めた「改敷」という心得のひとつ。南天や笹や檜葉などの葉を、食材や料理を盛る器の下に敷き添えて、清潔感と美しさを演出するものとして受け継がれてきました。

実際にメギ科の常緑低木の南天の葉には、防虫や防腐の成分があり、昔から米櫃や鎧櫃に入れて使われてきました。果実は、「南天実」として咳止めなどの漢方薬としても親しまれています。こうした南天がもつ薬効や機能性から、<sup>「難転」</sup>に通じる縁起のいい植物として家の鬼門の方角や、庭先の手水鉢の脇などに植栽されることも多いようです。

この南天の薬効や機能性のように、住友ベークライトの「スミライト®CEL」は、食の安全を見守る、食品衛生規格に適合した機能性フィルム・シート。食品用包装に求められる優れた成形性、酸素ガスバリア性、耐ピンホール性など、多彩なニーズに最新の技術で対応した共押出法による多層複合フィルム・シートです。



スミライト®CEL

プラスチックのパイオニア  
**住友ベークライト株式会社**

フィルム・シート営業本部

〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目5番8号 天王洲パークサイドビル  
TEL:03-5462-4111 FAX:03-5462-4873 <https://www.sumibe.co.jp>

